

病院と地域をむすぶ



パイプライン

2018年3月号

発行：2018.3.9 総合病院 南生協病院



眼科

二月	一日外来患者数：849.0人 一日入院患者数：291.1人 ベッド稼働率：93.0% 救急車：224台 手術数：94件
----	--

最新鋭白内障硝子体同時手術装置導入で安全かつ効率的に手術を実施

H26年度より、最新広角観察システムのリサイトを搭載した手術顕微鏡を導入、今回さらに「アルコン社製の最新鋭白内障硝子体同時手術装置コンステレーション」導入と併用し、眼底全体の状態を把握しながら、高性能な硝子体、白内障手術をより安全かつ効率的に提供できるようになりました。当院では、主な手術対象疾患は、白内障、緑内障、黄斑部疾患を含む網膜硝子体です。現在、白内障手術年間400件、網膜硝子体手術45件、緑内障手術10件前後と手術件数も徐々に増加しております。また、白内障手術も1泊2日、硝子体手術1泊2日から1週間で行っています。



なお、全身麻酔、涙道疾患、斜視手術は

近隣の大型病院にご紹介させて頂いております。一般的な眼科診療から専門性の高い治療・手術まで、地域の皆様に信頼できる眼科診療を提供出来るよう努めてまいります。

眼科 眼科管理医長 二村 裕紀子

認定・専門看護師を紹介します

「専門看護師」「認定看護師」を聞いたことがありますか？どちらも日本看護協会の資格です。「認定看護師」は熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践により、看護現場における看護ケアの広がりや質の向上を図る事が目的で現在21分野あります。

「専門看護師」とは複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、集団に対して水準の高い看護ケアを効率よく提供するための、特定の専門看護分野の知識・技術を深め、保険医療福祉の発展に貢献し合わせて看護学の向上が目的で現在13分野の領域があります。現在南医療生協には5分野7名が在籍しています。



感染管理認定看護師 小栗生江

地域包括ケア病棟オープン

4月1日より

地域包括ケア病棟とは、急性期病棟で病状が安定した患者様が、安心してご自宅や介護施設へ戻れるよう支援する病棟です。また、在宅療養中の患者様が、一時的に入院してのリハビリが必要になった時や、介護者の休養目的でもご利用頂けます。

12月から開設準備を開始。医師・看護師・リハビリ・MSWでカンファレンスを行い、患者様がスムーズに退院できるよう、目標を決めて退院調整を行っています。退院後の生活がより充実したものとなるよう、リハビリも集中的に行います。必要であれば、おたがいさまシートの活用や、地域の支部・班会などへつなぐ等、南生協らしい地域包括ケア病棟を目指しています。

4月3日 8時30分～9時
オープニングセミナー実施
6B病棟にて
どなたもご参加下さい



リハビリイメージ



病棟での打合せ風景

医療活動フォーラムから管理栄養士チームの報告を掲載します

清涼飲料水の砂糖の量はどれだけあるの？

皆さんは清涼飲料水にどのくらいの糖質が入っているかご存じですか？栄養支援室ではわかりやすく伝えるために、清涼飲料水に含まれる糖質を砂糖に置き換え、それを空の容器に詰めた媒体を用意しています。数字で見るとわかりにくいですが、実際に媒体を見せて伝えると「普段何気なく飲んでいるジュースにこんなに砂糖が入っていたの！？」と驚かれる方が多いです。他にも身体に良いと思って飲んでいる「飲むヨーグルト・乳酸菌飲料・果物ジュース・野菜ジュース」などは意外と『糖質』が含まれています。飲み過ぎることで血糖値や体重にも関わってくるので、飲む『量・タイミング・頻度』については媒体を用いた提案でわかりやすい栄養食事指導を心がけています。

栄養支援室 管理栄養士チーム



今回から、2月の医療活動フォーラムで報告した内容を記事にしてご案内します。

編集担当